



健康長寿の町づくりを目指して

1 超高齢者社会の現状と課題

人口構成 (%)	65歳以上		75歳以上	
	2015年	2025年	2015年	2025年
全国	23.1	31.8	11.2	19.7
柏市	20	32	11	20

柏市の病院・医療機関の状況

	2010年	2025年
一般病床数	3,192	3,192
入院者数	2713	3,830
患者の病床利用率	85%	120%

特別養護老人ホームの状況

	2010年	2030年
待機者	710	2,000

⇒ 将来は病院、特別養護老人ホームの利用は非常に難しくなる

2 柏市の在宅医療プロジェクト

基本理念: 全ての高齢者が、その人らしく、住み慣れた地域で安心していきいきと暮らすまち 柏

地域包括システムの実現 = 柏市、東京大学高齢者総合研究機構、UR都市機構による在宅ケア

柏モデルの構築⇒平成26年4月活動開始(柏市地域医療連携センターオープン:豊四季台)

柏市の在宅医療システムの特徴

- 1 システム普及の取り組みのための啓発活動は市民個人をを対象としている
- 2 在宅医療を選択する時に主治医・副主治医を選任する
- 3 豊四季台設置された柏地域医療連携センターが柏市全域の対する在宅医療の普及活動を行っている

3 富勢モデル構想《行政と住民の協働活動による在宅ケア柏モデルの実施プラン》

- 1 住民がみんなで続ける健康増進 ⇒健康長寿の町づくり
 - * グループで活動:公園でのふれあい健康体操、ふれあいパトロール
- 2 元気な時から参加する主治医制度⇒ 主治医による特定健診、健診結果に基づく介護予防活動
 - * 富勢地域をブロックとした主治医制度、登録者はグループで健康維持活動
 - * 主治医による特定健診、保健所・北柏地域包括支援センターの改善プログラムをグループで実施
- 3 ふれあい促進で支え合いの環境づくり ⇒ 在宅療養者に対する買い物、ゴミ出し、見守り支援
 - * 元気な時からふれあい促進活動:草花で街を明るくする運動、ふれあいパトロール
 - * 地域の友人と趣味・運動のお付き合い:気軽に支え合う友人づくり(家の鍵を預け合う信頼関係)
- 4 富勢モデルは在宅医療柏プロジェクトの早期導入プログラム⇒ 柏市と地域住民の協働プロジェクト
 - * 在宅ケア富勢モデルの構築は富勢地域ふるさと協議会・「在宅ケア・医療問題取り組み委員会」中心
 - * 在宅ケア富勢モデルの導入実施時期は富勢地域地区単位で住民が決定する